

事業報告書

令和4年度

【令和4年4月1日から令和5年3月31日まで】

学校法人 山田学園

1. 法人の概要

① 名 称：学校法人 山田学園【昭和43年3月28日法人設立】

② 住所等：大阪府守口市金田町2-27-10

電話番号 06-6901-8873

ファックス 06-6901-3199

ホームページ <http://kinda.ed.jp>

メールアドレス info@kinda.ed.jp

③ 設置する学校

学校の名称：認定こども園金田幼稚園（幼保連携型認定こども園）

④ 理事長氏名：山田 敏和

*理事6人、評議員13人、監事2人

⑤ 教職員の状況

(R4.4.1時点)

教職員数42人（内、常勤26名・常勤育休1名・非常勤14名・バス業務委託1名）

4年度新規採用者（常勤0名、非常勤1名）

(R5.3.31時点)

教職員数45人（内、常勤25名・常勤育休2名・非常勤17名・バス業務委託1名）

4年度末退職者（常勤4名、非常勤1名）5年度新規採用者（常勤4名、非常勤4名）

2. 事業の概要（令和4年度金田幼稚園の概要）

① 教育方針

・一人ひとりの子どもが園生活を楽しむ中で、基本的生活習慣と社会に適応できる基礎的な態度が身につく。

・一人ひとりの子どもが園生活を楽しむ中で、友達と力を合わせてがんばったり思いやりったりしながら充実感を味わう。

・一人ひとりの子どもが園生活を楽しむ中で、豊かな感性を培うことができる環境を与え、素直に自己表現ができる。

② 学年、定員、実員（内訳）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
認可定員	9	12	12	60	60	60	213
R4.4.1	3	12	15	59	57	59	205
R5.3.31	5	12	15	59	57	59	207

1号認定子ども141名、2号認定子ども39名、3号認定子ども33名

③ ○ 教育時間

月～金曜日：午前保育時：午前9時～午前11時30分

午後保育時：午前9時～午後2時30分

○ 保育時間

月～土曜日 : 午前7時30分から午後6時30分

○ 日・祝日 : 休園

④ 費用等

(1) 入園までにかかる費用

入園検定面談料 (1・2号)	3,000円
受入準備金 (1・2号)	20,000円
施設充実費 (1・2号)	30,000円 ただし、0～2歳児から在園している場合は施設充実費は不要
施設充実費 (3号)	30,000円
冬制服一式 (体操服込) (1・2号) (制服類・制帽子)	22,170円 (男児) 22,520円 (女児)
冬体操服2セット (2歳児)	11,200円
スモック (1・2歳児)	1,450円
組帽子 (0～2歳児)	1,070円
連絡帳セット (0～2歳児)	450円
用品代 (1・2号) (制靴含む)	(3才児) 16,900円 (4才児) 22,640円

(2) 入園後毎月必要な費用

保育料	園児の居住する市町村が定める額	
特定保育料 (教育充実費)	3,000円 (1号) 4,000円 (新2号) 5,000円 (2号) 2,500円 (3号)	
PTA会費	800円	
給食費 (1・2号のみ)	5,100円 (1号) 減免者は2,100円 ※370円 7,650円 (2号) 減免者は3,100円	
諸費 (年度末に精算し余剰金は返金)	5歳児: 2,100円 4歳児: 1,900円 3歳児: 1,800円	
寝具類 (3号)	タオルケット (敷き・掛け2枚組)	1,050円
	布おむつ・カバー (半月ごとの精算)	5,850円 (0歳児) 5,250円 (1歳児) 4,650円 (2歳児)

(3) 利用者のみ必要な費用

バス利用料 (1・2号)	往復3,000円 (片道2,000円)
--------------	---------------------

(4) ホームクラス利用料

1号 認定	早朝保育		教育時間	預かり保育①	預かり保育②	
	7:30～	8:00～	8:50～14:30(午前保育 11:30)	～16:30	～17:30	～18:30
	100円 (1,000)	200円 (2,000)	♪	500円 (5,000)	200円 (2,000)	200円 (2,000)
2・ 3号 認定	延長保育		保育短時間		延長保育	
	7:30～	8:00～	8:30～16:30		～18:30	
	100円	100円	♪		30分100円	
	保育標準時間					
	♪ 7:30～18:30					

※長期休暇中は別体系あり

⑦ 行事の実施状況（特に記載のないものは幼児）

- 4月/入園式（乳幼児）、進級式、参観、PTA総会、尿検査、懇談
- 5月/夏野菜の栽培（年中・年長）、いちご狩り、運動参観（幼児）、移動動物園、園内研修
- 6月/乳児参観懇談、内科・歯科検診、視力・色覚検査、プール開き、園内研修
- 7月/七夕参観、ぶどう狩り（年少）、個人懇談、終業式、宿泊保育
- 8月/始業式、土曜参観（乳児）
- 9月/遠足ごっこ（年中・年長）、運動会（乳児）、園内研修
- 10月/運動会、いも掘り（幼児）、遠足ごっこ（乳児）、園内研修
- 11月/消防署見学、あそびの広場、みかん狩り（2～5歳児）、お店屋さんごっこおよび参観、交通安全教室、園内研修
- 12月/生活発表会（乳児）、ホットケーキパーティ、もちつき、クリスマス会（乳幼児）、保育参加懇談（乳児）、~~小学生交流会（年長）~~、個人懇談、終業式、園内研修
- 1月/始業式、アルバム撮影（年長）、新入園児一日入園、内科検診、園内研修
- 2月/豆まき、生活発表会、深北緑地遠足、消防音楽鑑賞（乳幼児）、個人懇談（年長）
- 3月/ひなまつり会、小学校見学（年長）、個人懇談（年中・年少）、お別れ会、卒園式、修了式

*毎月、身体計測・避難訓練・食育活動・誕生会を実施

コロナの影響により園庭開放は7回のみ

*随時、子育て相談を実施

⑧ 今年度の主な目標および計画の達成度

今年度も引き続き新型コロナウイルスの影響が続いており、新しい生活様式を取り入れた保育、行事の分散化、消毒等の徹底、マスクの着用などが必要であった。今年度は昨年度以上にコロナの感染者がおり、職員の感染も多数に上ったため、工夫しながら保育を進めた。

職員による保育後の消毒と併用して、消毒業者による一斉消毒を利用して対応した。コロナの流行があり9月のぶどう狩りは中止とし、園内で模擬ぶどう狩りごっこを行った。その他の行事は形を工夫しながらもおおよそ実施できた。コロナの影響が収まりつつある卒園式も昨年同様クラス別に実施したが、静かに待つことが難しい園児が増えた中で一人一人の賞状を授与するうえではふさわしい方法であったと感じている。

また、年々支援の必要な子どもの数が倍増し、集団保育の難しさを感じた1年であった。その他、コロナ3年目でプライベートでの自粛および保育でのコロナ対応により、職員の精神的な疲弊感が感じられ、職員間の交流の場も少なかったことから、フォロー体制、精神的な変化に気をつけながら、過ごす必要があった。

研修については近畿地区教育研究大会および大阪府私立幼稚園連盟教員研修ともにネット配信されたため、全職員が複数回研修を受講することができた。また、市や府主催の研修にも参加することができた。

⑨ 経営にかんする部分

今年度はスタート時に正規職員の採用ができず0歳児の受け入れを3名にとどめた点や次年度に向けた採用のため人材紹介会社を利用してフルパート職員を早期に確保した点、監視カメラの導入、夏の異常な暑さ対策として2階保育室エアコンの入れ替え、コロナ休園および乳児クラスへの自粛要請に対して給食費および特定保育料の返金を行ったことも相まって、減収となった。

もともと、次年度に向けた職員採用として新卒者4名の採用、非常勤からの正規転換、パート職員の紹介とハローワークからの採用で、次年度に向けた職員確保には費用をかけることなく達成できた。これにより職員数は増えるが、年度末の退職者正規4名、非正規1名のため、若年化、未経験者増となることに対する人材育成に年度末から力を入れた。